

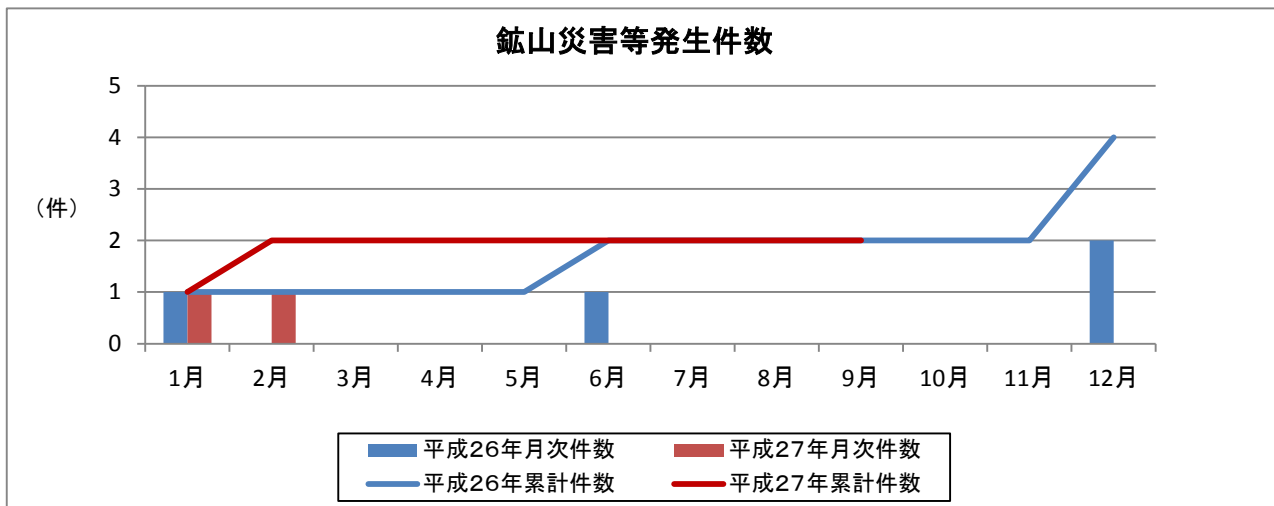
【平成27年】

■管内における事故発生状況(9月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

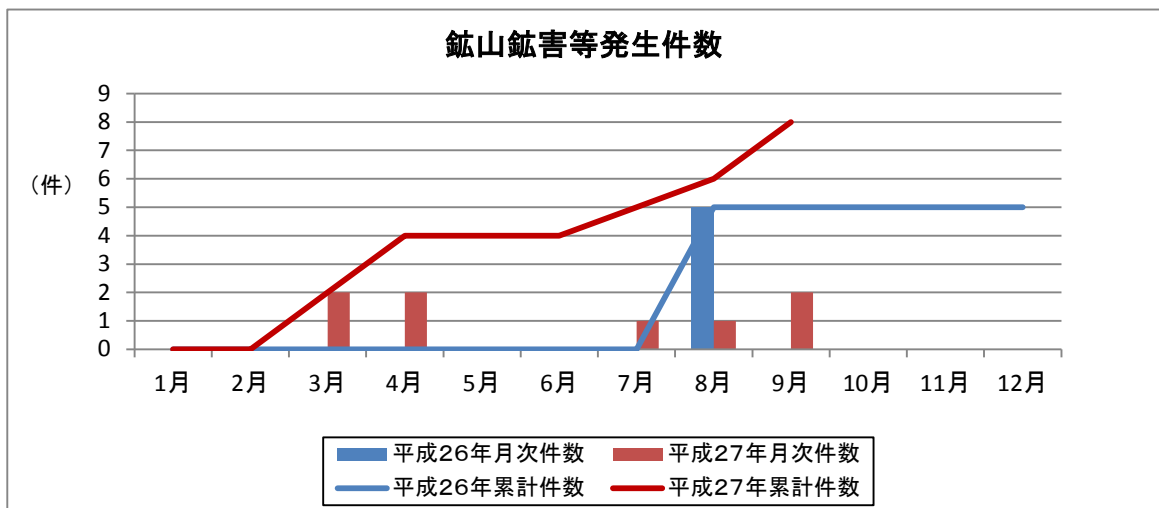
○鉱山保安法関連(災害等)

災害等の種類	27年9月分				前月件数	前年同月 件数	27年累計				26年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
火災										2				
取扱中の器材鉱物等のため														
運搬装置のため(車両系鉱山機 械又は自動車のため)														
運搬装置のため(その他)														
墜落														
転倒										1			1	
灼熱溶融物のため														
落下物又は倒壊物														
その他										1			1	
合 計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	4	0	2	0



### ○鉱山保安法関連(鉱害等)

鉱害等の種類	27年9月分	前月件数	前年同月 件数	27年累計	26年累計
坑廃水	2	1	0	7	5
鉱煙				1	
粉じん					
集積場					
騒音・振動					
その他					
小計	2	1	0	8	5
その他自然災害に伴う鉱害	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	8	5



・9月10日:排水基準に適合しない坑廃水の排出(福島県)

10日12時頃から13日まで排水のpHが排水基準を超過(10日はpH9前後、12日から13日はpH5弱を継続。現場管理人が現地から避難した10日15時から現地入りが可能となった12日11時35分までのpH値は不明。)

これは、9月9日20時30分の中和槽pH異常警報発報(処理量増大による中和槽内のpHの急激な低下)以降、苛性ソーダ添加を手動で行っていたがpH調整が追いつかなかったことによるもの。

・9月11日:排水基準に適合しない廃水の排出(宮城県)

11日、雨が激しく降り続いたため、鉱山、製錬所の廃水の水量が増加し、0時頃(推定)から集積場ポンプ室等の8ヶ所から廃水が溢流し河川に流入。また、沈澱池から廃水と一部の鉱滓が流出。総合排水も排水基準を超過。

12日、溢流が続いていた2ヶ所の集積場ポンプ室の浸透水は12時までには停止し、総ての溢流箇所は無くなり、13日、総合排水の分析結果において、排水基準適合を確認。